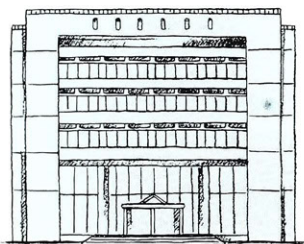


西南学院大学

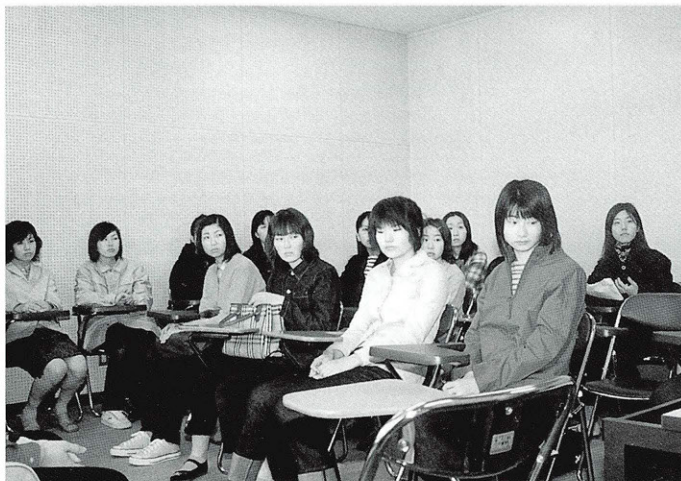


図書館報

No.

148

2000



目次

大学生になった皆さんへ

図書館長 古賀 衛 2

国際機関資料室を利用して

法学部国際関係法学科 3年 松崎 由紀子 3

新システムに変わって

新しい OPAC
—全文検索より解放される— 4 5

私流、本の選び方

文学部英文学科卒業生 西 政 宏 6

知の泉によせて

文学部国際文化学科 2年 白 神 芳 6

世界を読むシリーズ

1. 国際金融への手引き
経済学部教授 及 能 正 男

2. 地球環境問題を読み解く
法 学 部教授 岩 間 徹 7

お知らせ

キリスト教資料展示コーナー開設 8



大学生になった皆さんへ

図書館長 古賀 衛

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

昨年、本学は開学50周年を迎え、さまざまな催しが行われました。その企画にあたって、50年ということの意味が論じられました。その中で、50年とは最初の入学生が70歳になろうとすることだという意見がありました。あたり前のことのように、これは一つの大切なことを言い表しています。つまり、この大学で学んだ人が新入生から70歳近くまで連綿と繋がっていることです。

大学の50年の努力は、これまでの卒業生の中に蓄積されています。私たち教員・職員の仕事も、卒業生を通じて社会の中に生きるのです。このような考えをコンセプトとして、卒業生と学生が参加できる記念行事が多数企画されました。

~~~~ 「ほんもの」の蓄積の場 ~~~~

一方、人の一生とは何によって測られるのでしょうか。世間では、その人が到達したもっとも高い社会的地位によって評価する傾向があります。しかし、私たちは、高い地位になくとも人格的に魅かれる人がいることを知っています。その人たちには、人生の喜怒哀楽を通じて多くの知恵が蓄積されています。その蓄積がその人の魅力となって現れているのです。人は生まれてきた時、まだ真っ白なキャンバスあるいは空の器です。その中に何を描き、何を詰め込むかが、その人の価値を決めるのだと思います。

皆さんは、皆さん自身の器に詰め込む「なにか」を求めて本学に来ました。それは本による知識だけでなく、さまざまな経験によっても得られるでしょう。ただ、「ほんもの」を身につけるには、単なる経験だけでは足りません。真剣に考え、他の英知の助けを得る必要があります。

図書館には、もの言わず皆さんが手を差し伸べてくれるのを待っているたくさんの「英知」が居ます。図書館は、皆さんがあることに興味を持ったとき、深く調べるための道具を用意しています。ある事件に疑問を持ったとき、憤りをぶつけて原因を究明するための手がかりも備えています。

~~~~ 広がる図書館の利用法 ~~~~

この数年、図書館の利用者が増えています。明るい環境の中で、昼寝をするにも自分の世界を持

つにも便利だからでしょう。その中には、はっきり目的を持って本を読みに来ている人も増えています。皆さんの興味や疑問も限りなく広がっています。図書館は、その興味や疑問について対応できるだけの材料を用意しておくことが使命だと考えています。そのため、本学の図書館は約70万冊の図書、6千種類の雑誌を所蔵しています。その他に、DVDやマイクロフィッシュなどの新しいメディアも増えつつあります。

最近、3階のS A I N Sルームの利用が増え、インターネットを通じた情報収集が盛んになっています。ここには80台のコンピュータが設置され、さまざまな情報源へのアクセスを提供しています。インターネットやDVDはニューメディアと言われますが、よく考えると、これらのメディアも、文字と画像を使った知識の伝達手段であることには変わりありません。この点で、図書もニューメディアも役割は同じです。図書館では、皆さんが自分の興味や疑問に答えることができるよう、コンピュータ室を充実させています。

また、図書や新しいメディアを置いているだけでなく、皆さんが学習・研究に必要な図書等を見いだすためのお手伝いとして、レファレンスサービスも行っています。レファレンスの職員も、皆さんの質問に答えられるように勉強しています。レポートや論文の資料を集めるとき、レファレンスに相談すると簡単に見つかることがあります。

~~~~ 本学図書館だけの施設 ~~~~

その他に、各階にはさまざまなタイプの机を配置し、勉強の形態によって場を選べるように工夫されています。ゼミやサークルなどで図書を調べながら議論ができるように、グループ閲覧室も設けられています。さらに、西日本の大学図書館で唯一の施設として、国際機関資料室と国際協力プラザが設けられています。国連、EU、OECDの3つの国際機関から図書・ドキュメントが定期的に送られてきており、資料室で閲覧できます。

せっかく大学生になったのですから、これからは「研究」のためにも図書館を訪れ、図書やニューメディアを利用して、自分自身への蓄積をしっかり積み重ねてください。

皆さんの来館をお待ちします。



国際機関資料室を利用して

法学部国際関係法学科3年

松崎 由紀子

私が、本学の国際機関資料室を利用し始めたのは、入学直後からでした。西南に入学する以前から、資料室のことを聞いて興味を持っていたことと、入部したサークル：模擬国連で、実際の国連文章を読んだりリサーチをするという機会を持てたからです。

国際機関資料室には、国連で採択された決議、報告書、議事録などの文章、国連やその補助機関、専門機関についての文献やパンフレット、E UやO E C D（経済協力開発機構）の資料がそろえてあります。私自身がよく利用したのは、国連文章や、国連の活動分野に関する和書などでした。しかし、国連文章はもちろん、それらを検索するインデックスも英語で書いてあるため、初めは自分の探している文章がうまく見つけれず、非常に苦労しました。そこで、わからない事は、国連資料に詳しい司書の方に何でも質問し、早く覚えるよう努力しました。いつも親身になって対応してくださった図書館の方々には、本当に感謝しています。

国連の資料を利用して勉強する習慣をつけたことで、英語の専門用語になれることができましたし、何よりも、国際関係の勉強の幅が広がったことは、自分にとって、非常にプラスになったと思っています。

現在、国連寄託図書館は全国に14ヶ所ありますが、九州には本学と福岡市総合図書館、那覇の3つのみです。そのうちの2つがこれほど身近に利用できる西南の学生は、非常に恵まれているといえるでしょう。特に、本学の国際機関資料室は、国連文書や年鑑もずいぶん昔の分から揃えてあり、国際機構関係の文献も比較的充実しています。また、政府・民間を問わず国際協力関係の資料・情報を閲覧できる「国際協力プラザ」もあり、関東・関西ほどこの種の情報が手に入りにくい九州の学生には、非常にありがたい存在です。

しかし、一方で私たち学生は、これらの貴重な資料を十分活用していると言えるでしょうか？私は、そうでないような気がします。例えば、「国際協力プラザ」がよい例です。昨年の6月には、プラザの開設をうけて国際協力に関する大規模なシンポジウムが開かれ、学生の関心も高まったように見えたのですが、その後、ここを頻繁に利用するのは、まだ一部の学生に限られているようです。

実際、私の友人に訪ねても、国際機関資料室に興味はあるが、利用したことはない、あるいは閲覧室までしか入ったことがないと言う人が殆どでした。その理由は、手続が面倒である、何を、どう利用したらよいかわからないというものが多いようです。

せっかくの貴重な資料も、それが多くの人に共有されなければ意味がありません。海外との交流

の機会が増え、国連、国際問題への関心が高まっているにもかかわらず、なぜ資料室の利用者が増えないのか。その答えの一つは、国際問題への関心をどう伸ばしたらよいのか、今の自分の学習にどう繋げたらよいかわからない人が多いということにあるのではないのでしょうか。

このような時代に、国際機関資料室が担っている役割は、無限大だと思います。国際機関資料室は、ただ単に国連文章を並べておく「資料室」ではなく、あらゆる利用者に開かれた、教育研究機関なのです。しかし、現在の主な利用者は、自分の専門的な研究の必要性に迫られた、一部の学生に限られています。また、学部学科によっても偏りがあります。専門の関係である程度は仕方がないにしても、あらゆる学生が、それぞれ自分のスタイルで利用できる、そんな国際機関資料室の環境作りが促進されるべきではないのでしょうか。

国連文章を大量に読みこむ人、ただ立ち寄って、そこにある資料をめくる人、様々な利用の仕方があります。特に後者のような人も、国連の活動、動向を感じられる場所であつたら、素晴らしいと思います。国連は、現在の国際社会の動向を反映しているだけでなく、それ自身も国際社会の動向をつくりだしています。一人ひとりが国際社会の動向を探り、そこから、自分の国際社会への責任感を育てていくことは、今や国際関係を専門に学ぶ人のみならず、すべての人々が関心をもって行うべきことなのです。

この点から、閲覧室の更なる充実が求められるでしょう。これまで以上に国連の活動、メッセージを簡潔に伝える場所になる必要があります。具体的には、国連が主催する様々なフォーラムの資料、国連が指定した「国際年」「国際の10年」に関する資料、主要国際機関の年次報告等を閲覧室に置いてみるとよいかもしれません。特に、多くの国家、国際機構、N G Oの政策決定にも大きな影響を与えているといわれる、U N D P（国連開発計画）の『人間開発報告書』、またU N E P（国連環境計画）が編集した、地球環境問題に関する権威ある報告書『G E O 2000』は、国連、国際社会の動向を探る上で、大変有益であると思います。

もちろん、いくら環境が整っていても、利用者がそれを使いこなさなければ全く意味がありません。私たち学生が、知的好奇心をもって学ぶこと、主体的に情報を求めていくこと、そして情報を選ぶ能力を身につけることが、何よりも大切であると思います。学ぶこと、楽しむことに好きなだけ時間を使える学生の内に、国際機関資料室で「知の技法」を身につけてみませんか？

新システムに変わって

最近、図書館に入館された方は、お気づきのことと思うが、今年1月17日、図書館のシステムが変更になり、機械も新しくなった。

図書館は、毎年2万冊余りの図書を受入れ整理しており、現在の所蔵冊数は約75万冊である。これらの資料の所在情報、書誌情報などを1989年から入力し、機械化を進めてきたが、途中で一度バージョンアップしたものの、許容能力に限界が出てきた。また、学術情報センターとの接続方法が変更になったこともあり、当初予定していた2001年のシステム変更を1年繰り上げたかたちとなった。

図書館業務上は、以前使用していたシステムとは全く違うため、まだその性能を完全につかみきれていないというのが現状である。とはいえ利用者にとっては、かなり学内資料検索方法が分かりやすくなり、自分の探している資料にたどりつきやすくなったことは確かである。

なお、従来図書館の外からは telnet でしか検索できなかった図書館資料が、新システムでは telnet での検索はできなくなったものの、それに代わり図書館のホームページから検索することができるようになり、ますます便利で分かりやすくなった。

今後は、より使いやすい図書館をめざし、このシステムを最大限に活用していきたいと考えている。

《参考・資料係長 古庄敬文》

新しい OPAC 全文検索より解放される

今までの OPAC ^{注1}より検索方法が、より簡易になりました。更新前の BIBLION による OPAC と違いが判る利用者は、LICSU-21の OPAC へ SYSTEM が移行になってもほとんど戸惑いもなく利用されているので驚きます。その理由を探していくうちに、共通のスタイルがありました。それは、図書館3階の SAINS ルームで「図書館ホームページの OPAC」(WEB OPAC) ^{注2}を利用して、資料の「目録検索」を実施した経験からです。

WEB OPAC の検索画面と、1階ロビーの8台及び各階に配置されている OPAC station の画面は、同一のデザインではありませんが、**AND ▽** 検索という、キーワード(単語)を要求される空白位置へ入力します。



これまでは、全文検索方式だったため結果の情報が多く表示されていました。そのなかから、必要な情報へ到達するにはいささか実用的でなかったのです。これを、一段と実的にされたのが、

AND ▽ 検索方法です。必要な単語をひとつ検索したのちつぎのキーワードを検索する「絞り込み」方式で機械的に最初の情報から情報量を減少させていきます。

このような方法は、SAINS を利用しているうち公開されている検索エンジンの YAHOO、GOO を使う多くの経験と似ているためでしょう。

西南学院大学 WEB OPAC

目録検索

キーワードを入力して、検索ボタンを押してください。
 キーワードの最後に「%」(半角、全角、両方可)をつけると前方一致の検索を行います。
 拗音(や、ゆ、よ等)を含むキーワードで検索できなかった場合、普通のかな(や、ゆ、よ等)で検索してください。
 <例> 坊ちゃん
 「ボツちゃん」で検索できなかった場合、「ボツちゃん」

キーワード入力

キーワード入力	☐ 完全一致 ☒ 前方一致	すべて	AND
キーワード入力	☐ 完全一致 ☒ 前方一致	すべて	AND
キーワード入力	☐ 完全一致 ☒ 前方一致	すべて	AND
キーワード入力	☐ 完全一致 ☒ 前方一致	すべて	AND
キーワード入力	☐ 完全一致 ☒ 前方一致	すべて	AND

検索実行 コード検索 キーワード一覧 終了

絞り込み範囲

キャンパス 西南学院大学 部局 図書館 神学部 文学部 商学部

資料タイプ 図書 雑誌 製本 雑誌

和洋区分 ☒ 和+洋 ☐ 和 ☐ 洋

並び替え

雑誌、叢書、単行本の単位でソートされます。雑誌、叢書、単行本のそれぞれが509件以上ある場合は、著者名、書名によるソートができません。
 優先順 ☒ 雑誌→図書 ☐ 図書→雑誌
 ヨミ順 ☒ 受入順 ☐ 書名読み ☐ 著者名読み
 並び順 ☒ 昇順 ☐ 降順

インフォメーション | 貸出の多い本一覧 | 目録検索 | 新着照会

少させています。このことは、資料を見つけだす時間を短縮する効果をもたらしました。

では、少し「雑誌」検索の状態を画面に表示される「ボタン」を用いてふれてみます。

「検索語」キーワードを「白書」としてみます。「検索実行」のボタンをクリックします。つぎに「環境」として「検索実行」をクリックします。

これが AND 検索です。「一覧表示」までは図書と同じ操作になりますが「所在表示 (f・9)」をみることで「雑誌の詳細」へ画面が変わります。

図のなかの「製本情報」ボタンをクリックすると年度別と所在位置が分かります。その画面の「詳細」ボタンをクリックしてください。巻号・所在・請求記号を知ることができます。

また、プリンターも2台設置されました。画面に表示された情報をA5版紙に印刷することができます。印刷の方法は、キーボードの左側 **Alt** キーを押しながら **Print** キーを押してください。

その他、OPAC で図書館のお知らせや貸出が多い一覧も見るできるようになりました。

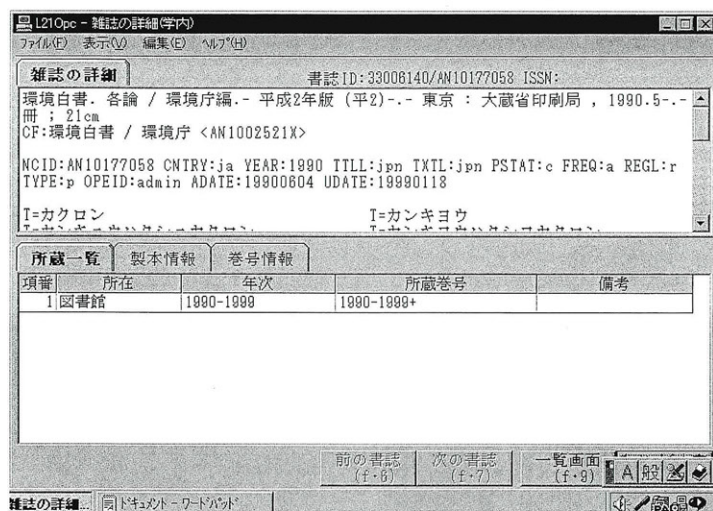
どうぞ、検索の達人をめざして OPAC さらに SAINS ルームと利用の発展を願っています。

つぎに、特筆すべきは、検索資料が「図書」なのか「雑誌」なのか表示がスッキリしていることです。

BIBLION の OPAC では「環境白書」を検索したとき、この「図書」「雑誌」が画面に表示されていませんでした。多くの利用者には、この資料が雑誌に分類されているものとは、やすく考えおよばないものでしょう。

おおよその見当をつけて書架で見つけようとすれどもかたがた違うものを感じて、相談カウンターに向かわれたときは幸いでした。「雑誌」の扱いになっていたため別の「雑誌目録」によって探しだせました。

新しい OPAC はこのような扱いにくい環境を大きく減



注1. OPAC (Online Public Access Catalog の略)

注2. WEB (WWW:world wide web のこと)



私流、本の選び方

文学部英文学科卒業生 西 政 宏

僕が本格的に本を読み出したのは、高校3年生の時からだ。『即刻片づけなければならないものがある時に限って、どうでもいいことをしたくなる』というのは、大概の人間に共通の性らしい。進路指導を初めとする周囲から、受験勉強を強要されるようになったので「小説でも読もう」という気になった。その時読んだ本の中には、ほとんど内容を覚えていないものもそれなりにあるが、作家の名前にたくさん出会っただけでも十分な収穫だったと思っているし、第一、過剰な効果を期待することじたい「読書に対する冒瀆」なのかもしれない。

大学に入ってから、専門の英文学関係以外では、ルポ系、社会科学系、自然科学系などを読むことが多かった。「社会人になるから、それなりの基礎知識をストックしておきたい」ということもあったけれども、「アイデンティティ」とか「自己」などという問題に気持ちが向かう時期だったことも大きな要素だったのではないか。高校生の時は、自分の内面が、自分にも明らかなほど流動的で、気持ちが安定しないかわりに、どんな突飛な思想や世界観、人生観にも、触れてみたいと思ったし、影響されたいとも思った。それが、大学生のころになると、自己制御装置が働くからなのか、自分の内面に迷いを与えてしまうようなものの、例えば、著者の見解が極めて不明瞭な純文学など、を意識的に避けたくなった。「そろそろ、人生観を固めるための第一段階に来てるよ」という、自分からのメッセージが届いてくるかのようだった。

読む本の内容は、自分の成長と共に少しずつ変わっていったが、図書館に入り浸るのが好きなのと、新着目録を見るのが楽しいのは長年変わらなかった。目録を見るにしても、図書館で直接本に向かうにしても、まず最初にやるのは、タイトルを見て想像力を働かせることからだ。「風とともに去りぬ」だったら、「風とともに何が去っていったのだろう?」と考えるのが自然な流れではないか。「何かが去って行く話だろうから、きっと寂しい話か、忙しさや慌ただしさから解放された主人公の話だろうか」などと考えてみる。

図書館で直接本の背表紙を見ている場合は、この後、目次、さらに、第1ページ、続いて、100ページ目くらいを適当に開けてみる。目次は、タイトルと同じくらい想像力をかき立ててくれる。登場人物の名前や主な出来事が断片的に垣間見れるようになっている。そういうふうだから、単に第1章、第2章、などと番号だけで章立てされた小説はあまり選ばない、という傾向がある。それから「100ページ目」だが、これは厳密な数字ではなくて、全ページの中程くらい、という意味で、この辺を読むと、目次で出てきた人物どうしの関係が見えることが多い。目次を見る時点でたくさん想像していれば、それだけ、この「中程ページ参照法」がおもしろみを増す。

目録の場合も、大概の場合は、帯やその他の宣伝文、紹介文が付いているので、これがまた楽しい。「タイトルから想像したおりの内容らしい」と思う紹介文もあるし、「どう考えてもタイトルからは想像できない」というものもある。そのひとつひとつがクイズでありゲームである。

こうして、個人的な見解ばかり書いてきたが、これを通じて、読書という行為が視覚障害者の生活の中でどのように「生きているか」を、より身近な視点から捉えなおしていただければと思った。「目が見えないと読書が難しい」という通説は、広く一般的に普及しているし、「点字の本が不足している」ということも、かなりいろいろところで言われている。今回は、「数が不足している」というマイナスの視点から少し離れ、少ないながらも、たくさんの点訳、音訳（カセットテープという媒体を通じて音声に訳すこと）専門のボランティアの人たちの支援が、視覚障害者にとってどのように享受されているかが伝えられたのなら、こうして投稿させていただいた価値があったと納得できる。



知の泉によせて

文学部国際文化学科2年 白 神 芳

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。大学での講義、サークル活動や交友関係など始まったばかりのキャンパスライフはいかがでしょうか。

さて、大学の心臓といわれている図書館のほうにはもう足を運びましたか。私は図書館が大好きですが、1日中いても飽きることがないほど施設は充実していますよ。具体的に例を挙げますと、1階では雑誌や新聞の閲覧コーナーがあり、ソファに座ってゆっくりと享受できます。またCNN放送の視聴席もあり、生の英語で世界のニュースを知ることができます。3階のパソコン室ではコンピュータが誰でも自由に使用でき、インターネットにより世界中の情報をいち早くキャッチすることも可能です。使用上の疑問点などは専門の方が親切に教えて下さいます。また自学自習をするのにもふさわしい空間で、資格試験や定期試験の準備に励んでいる学生もよく見受けられます。蔵書もひじょうに豊富でレポート作成のために調べることも、また無い本については他大学等より取り寄せていただくこともできます。そして、レファレンスサービスという図書館の情報を最大に利用する上での援助もあります。これは分からないことや調べたいことに関して1階のカウンターで職員の方が対応して下さいますが、どんな質問にも笑顔できめ細かにアドバイスをして下さることがたいへんありがたいですね。皆さんもうまく利用して、必要な情報や知識をたくさん吸収してして下さい。

話はそれますが、私は新入生の方々に「読書」をされることを提案します。人生で最も自由に時間を使える今こそ、様々な書物に接してみてはいかがでしょうか。私にとっての読書、例えば文学の魅力はもう一つ別の人生航路を持つことにあります。人生は一度きりですが、時間や空間を超えて様々な人々の生涯を経験し、思想を知るとは実に感慨深いものです。自身がいったい何を考えているのかと内なる声に耳を傾け、人生の深い陰影を思い知る上でのひとつの手段ともなっています。目下、自分が思い悩んでいることは、過去の人々がわりあい同様にぶつかってきたテーマでもあるわけで、それらは書を開くことで解決の方向性を見出すこともあります。そんなときはほっとし、何だか嬉しくなるものです。さいわいここには様々なジャンルの書物がたくさん揃っています。1冊の本との出会いがその後の人生の指針となるかもしれませんね。

最後に、大学時代の醍醐味というのはいかに自分自身で工夫してそれを引き出すかによると感じています。そのひとつに「図書館に親しむ」ことを考慮に入れてみてはいかがでしょうか。きっと多くの収穫が得られることでしょうし、今の生活がもっと潤い、豊かになると思います。皆さんがここ西南学院にて師、友人そして書物を通しての生涯に残る素晴らしい出会いや経験をされることを願っています。



地球環境問題を読み解く

そのようなグランドデザインを頭の中に描きながら、私は法制度の観点から「国際環境法」を講義しています。石さんの書物は私の問題提起に格好な素材を提供してくれています。

《キリスト教資料展示コーナー》開設

映画『ベン・ハー』にもみられる名場面・資料など

今から少し前、西アジアやアフリカなどから観光で日本を訪れた人たちがよくみやげに買って帰るビデオテープは「ベン・ハー」だったといわれていました。先日NHKや民間放送で放映されました。本学50周年事業でも放映され、チャールトン・ヘストン演じるユダ・ベン・ハーが体験する数奇な運命、ガレー船の戦いで救出したローマの高官との養子縁組、宿敵メッサラとの戦い、そしてイエスとの出会い等々、感動の連続でした。この映画では、確かに戦車のレースでメッサラを破り、母と妹が捨てられた悪病の谷へ出向いて2人を救い出すシーンは目が離せないところですが、ほぼベン・ハーと同年齢のイエスがストーリーの要所に登場して、ローマ、ユダヤ、イエスの三つ巴のストーリーが展開します。

ローマ皇帝の圧政に苦しむパレスチナでは、メシアの出現を久しく待望していました。イエス自身は自分をメシアと称してはいないし、弟子たちにもそう呼ぶことを戒めていたと言われていました。ガリラヤ湖近くの丘での「山上の垂訓」(写真展示)も登場します。イエスは自らを神の子として、人々の罪を背負って逝くのです。ユダヤ教の宗教権威者の力に抵抗することを失ったローマ総督ピラトは、イエスを当時としては最も残酷だと言われる磔刑としたのです。(ちなみに磔刑は窒息死と言われます)

イエスは、晩餐の広間から出て、ゲッセマネへ行き、カヤバの宮殿へ戻り、神殿(模型展示)、ヘロデ・アンテパスの宮殿へと行ったり来たりして、最後にゴルゴタの丘へと十字架を背負って行くのですが、このあたりのシーンも感動しました。ドイツ・オーバーアンマーガウで10年に一度上演される受難劇も、ゴルゴタへの歩みが最大の見せ場となって世界中から観光客がやってくるそうです(ちなみに今年はその10年目です)。

そして復活…。ピラトが死体を部下に確認し、ヨハネに引き取らせますが、マグダラのマリア、ヤコブの母マリヤ、サロメらがイエスに香料を塗るためにやってきたときには、ヨハネが入れた墓から既に復活して、彼らよりも先にガリラヤに行っているというのです。

さて、図書館玄関脇に設けたキリスト教資料展示コーナーには今わずかな資料しかありませんが、神殿の模型やエルサレムの地図、等を見ますと、こうしたイエスの生涯やキリスト教に関するさまざまな情景を想像し、そして増幅し、非常に興味深くなるものです。例えば、「ベン・ハー」の冒頭でイエスの家で木工作業をしている父のところに知人が訪ねてきますが、入口のところで「メズーザ」(展示中)にちょっと指を触れ、その指にキスをして中に入るシーンがありました。ベン・ハー家でも、玄関の右の壁に取り付けてありました。ユダヤ教徒の信仰生活習慣です。そのような、ちょっとしたしぐさでもアメリカ映画のしっかりした考証がわかります。

今の日本ではキリスト教文化が人々の生活に強く関わりがあることは否定できないと思いますし、皆さんも大きな想像力でキリスト教の歴史をたどってみてはいかがでしょうか。(図書館事務次長)

お 知 ら せ

◎卒業論文用・教育実習用の長期貸出サービス

卒業論文用、教育実習用に用いる資料は、通常の貸出とは別に長期の貸出ができますので、ご利用ください。

◎夏季休暇貸出について

夏季休暇のため長期の貸出を実施します。

受付開始 6月26日(月)

返却期限 9月7日(木)

貸出冊数 5冊

《図書館委員会》

11月22日(月)

報告 ①2000(平成12)年度学部雑誌の継続購入について

②2000(平成12)年度個人研究図書費による雑誌の購入申請について

議題 ①2000(平成12)年度大学図書館予算申請(案)について

4月10日(月)

報告 ①2000(平成12)年度私大助成の申請、高額図書の申し込みについて

議題 ①1999(平成11)年度大学図書館決算について

②2000(平成12)年度大学図書館補正予算申請について

編 集 後 記

ミレニアムの2000年4月から新システムになり、学生用のOPAC端末機の画面も変わりました。

使用方法は、備え付けのマニュアル等を参考にされたいにご活用ください。良書に満ちた図書館を学生生活の良友としてご利用ください。

(Y.M)

表紙は、2000(平成12)年度 新入生図書館利用説明会風景。